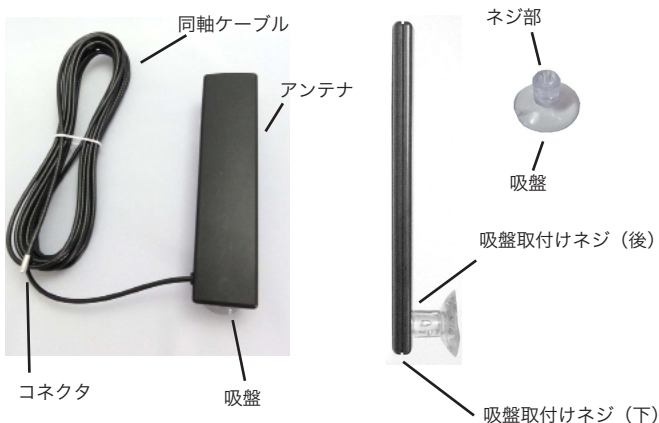


この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

### 特長

・本製品は室内の窓際等、比較的電波の強い場所に設置し、フォーマ本体(L02C,L03D,L07A)に接続することで、電波の弱い場所でも安定した状態で通信ができる室内用窓アンテナです。800M/1.7G/2GHz帯共用です。

### 構成部品 (各部の名称)



### 安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

### 注意：

この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

#### コネクタを濡らさないでください。

本アンテナは防水構造ですが、アンテナが濡れた場合、その影響で特性が変化します。乾くと元の状態に戻ります。コネクタを濡らさないでください。ペットの尿やその他液体が入ると、同軸ケーブルに浸透し故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

#### 乳幼児の手の届かない所に保管または設置してください。

けがなどの原因となります。

#### ペットなどのいたずらによる破損に注意してください。

ペットなどがある場所では、アンテナ、ケーブル及びコネクタに噛みつきたり、破損しないよう保管または設置してください。

#### 雷が鳴りだしたらアンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

#### 人の多い場所では使用しないでください。

アンテナの突起物が他人に当たり、けがの原因となります。

#### 窓の開閉時は、アンテナを取り外してください。

アンテナを取付けたまま窓の開閉をすると、窓やアンテナを損傷させる恐れがありますので、アンテナを取外してから、窓の開閉を行ってください。

ケーブルを極端に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたりしないでください。

ケーブルが断線し、故障の原因となります。

外観の変形、故障、破損の可能性がある場合は、直ちに使用を止めてください。

そのまま使用を続けると、アンテナ及びフォーマ本体の故障の原因となります。

分解、改造をしないでください。

けがや事故または故障の原因となります。

吸盤が不安定な場所へ設置しないでください。また、ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

本製品を水没するような環境へ設置しないでください。

本製品は、JIS Z2371による塩水噴霧試験方法のうち中性塩水噴霧試験の72時間連続運転に準拠しています。水中における使用を想定していません。

直射日光の強い場所などの高温の場所で使用、放置はしないでください。

機器の変形、故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

取り付けしたアンテナを外す場合は、ケーブルを引っ張ったり、無理に外さないでください。

設置場所を破損したり、落下しけがや事故または故障の原因となります。

### 警告：

この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

#### 自動車内への設置は安全第一を考慮してください。

本アンテナは吸盤による簡易設置型です。自動車内では車の振動などによってアンテナが外れ、安全走行を損ない事故の要因となります。もし使用される場合は、車の運行の妨げとならないよう安全に最大限の配慮をしてください。また、道路交通法の改正により、2004年11月1日から運転者の運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では使用しないでください。

電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。

医療機関内での使用については各医療機関の指示に従ってください。

高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くに、携帯電話に接続された状態のアンテナを設置したり、または近づけないでください。電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器などをご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

発熱、発火などの事故または故障の原因となります。

- ・このアンテナは、電波の比較的入りやすい窓際を選んで使用された方が、より効果的です。三方以上を囲まれた場所は、避けてください。(本アンテナは、補助的に用いられるものですので、場所によっては効果が得られない場合があります。)
- ・このアンテナはフォーム (L02C、L03D、L-07A) 用です。PHS 及び屋内コードレス電話等のホームアンテナではありません。
- ・ご使用の際は、必ずコネクタをフォーム本体の外部接続端子に差し込んでください。
- ・極端な高温、低温は避けてください。周囲の温度は、-20℃～80℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- ・アンテナ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
- ・このアンテナは吸盤でアンテナ本体を固定します。吸盤でしっかりと固定できる様、平滑な面に取り付けてください。材質や汚れ等で付かない場合があります。吸盤のネジは M 4 です。

- ・吸盤は柔らかい材質でできております。無理な力で変形させないでください。
- ・金属板や網入りガラス (金属製) に取り付けてのご使用、及び金属製の家具や家電製品に取り付け又はそれらの近くでの使用は電波の状態が悪くなる恐れがありますので、避けてください。
- ・ケーブルに足を引っ掛けないようご注意ください。
- ・ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください (アンテナ等の変色や、変形の原因となります)。汚れ等をふき取る場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・ケーブルの最小曲げ半径は約 15mm です。この大きさ以下で曲げるとケーブルへの負担が増えて断線しやすくなります。また、この範囲内であっても繰返し屈曲させますとケーブルが断線します。



## 1. アンテナの取り付け方法

- (1) 取り付ける面を雑巾などで良く拭き、汚れを落とします。その後十分に乾かします。吸盤も洗って乾かします。吸盤を強く押しつけ、内部の空気を抜いて固定します。
  - ・吸盤のネジ部はまっすぐに立てて下さい。
  - ・吸盤は徐々に空気が入ります。空気が入ると外れてしまいます。時々吸盤を押し、空気を抜いてください。
  - ・外れたり付きにくくなった時は、吸盤を 5～6 分程お湯に浸け、乾かして御使用下さい。
- (2) 表面が平らな場所のみ設置可能です。吸着力が保てない凸凹・ガラガラ・ツヤ消し面には吸盤は付きません。

## 2. アンテナの取付け向き

- (1) アンテナは垂直に取り付けてください。ケーブルは左へ取り出されます。
  - ・ケーブルの長さは、5m です。
  - ・フォーム本体との距離を確認してください。
  - ・接続したケーブルは足などに引掛けないようご注意ください。

## 4. コネクタの接続

- (1) フォーム本体のリアカバーをスライドさせて取外し、キャップを外すと外部アンテナ端子が現れますので、垂直に挿入してください。
  - ・コネクタは絶対に無理に差し込まないでください。コネクタは正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだ時は、強い力を入れなくてもスムーズにはいるようになっています。うまく差し込めない時は、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。フォームのコネクタは非常に繊細な設計になっています。無理をすると、双方のコネクタを傷める要因となります。

## 5. コネクタの取り外し

- (1) コネクタを抜くときは必ずコネクタを掴んで引抜いてください。
  - ・ケーブルを掴んで、外さないで下さい。
  - ・コネクタはこじらず真直ぐ引き抜いて下さい。
- (2) フォーム本体の外部アンテナ端子にはキャップを被せてください。

## 5. アンテナの取り外し

- (1) アンテナ本体を引っ張りますと、吸盤が吸着面に残る事があります。アンテナを取り外す時は、吸盤をつまむか、吸盤のつまみを引いてください。ケーブルを引っ張って取り外すと故障の原因になります。
- (2) フォーム本体の外部接続端子にはキャップを被せてください。

## 6. 不具合の主な原因

- (1) 『アンテナを接続すると圏外になる』という不具合の殆どの原因が、接続端子の破損です。コネクタの抜き差しは丁寧に行ってください。
- (2) 次に多い不具合は、コネクタ付近での同軸ケーブルの断線です。同軸ケーブルは屈曲を非常に嫌います。屈曲を繰返さないでください。



リアカバーをスライドさせて取外し、キャップを外し、コネクタを挿入する。  
(写真は L-03D にストレートプラグを挿入した様子)



0203 : ストレートプラグ

0203L : L 型プラグ

注意：仕様及び外観は、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。カタログや製品に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、弊社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性については 100% 保証するものではありません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任を自覚して頂く必要があります。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替える事だけにあり、それ以外の責任はご容赦ください。

FOMA® は NTT ドコモの登録商標です。L-02C、L-03D は NTT ドコモの製品です。

